

環境保全活動

ミネベアは、環境保全を経営上の最重要テーマの一つとして認識してきました。世界中の全拠点において環境保全活動に徹底的に取り組んできており、地域社会に歓迎される企業活動を実践してきております。グループ全体の全製造拠点で環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」の認証を取得済みです。

1991 | 7

洗浄用特定フロン及びエタンの使用全廃を目的として「フロン対策委員会」を設置。

1992 | 3

タイへ進出している日系企業の代表として、タイで開催された「日米オゾン層保護会議」に参加し、「特定フロン及びエタンを使用しない純水洗浄システム」を公開。

1993 | 4

世界のベアリングメーカーに先駆けて、グループすべての工場における洗浄用特定フロン及びエタンの使用を全廃。

注 投資総額約50億円を投じて各工場に純水洗浄装置を導入し、それまでに洗浄用に使用していた月当たり約145トンの特定フロン及び約325トンのエタンの使用を全廃。

「フロン対策委員会」を発展解消し、「環境対策委員会」を設置。

| 7

通産省(現経済産業省)主催の「オゾン層保護セミナー」において、純水洗浄装置の詳細技術を公開(以後、世界各国主催のセミナーやタイ工場見学会において同技術を公開)。

| 8

「ミネベア環境憲章」を制定。

| 10

タイ子会社各社及び日本の工場が、米国環境保護庁(EPA)から「1993年度オゾン層保護賞」を受賞。

1995 | 10

荻野前社長が、EPAから「1995年度オゾン層保護賞」を受賞。



オゾン層保護賞の盾

1996 | 4

中国の製造子会社上海美蓓亞精密机械有限公司が所在する地元青浦区淀山湖の水質保全とその周辺の環境保全を目的とした「上海美蓓亞淀山湖環境保護基金」を設立(環境保全を目的とする基金の設立は上海に進出している外資系企業としては初。2003年6月現在の基金額1,100万人民币)。

| 7

ミネベア・グループの全工場で、国際規格である「ISO14001」の認証を順次取得していくことが決定され、環境マネジメントシステムの構築が開始される。

1997 | 4

軽井沢の本社工場及び英国子会社Rose Bearings Ltd.のリンカーン工場が、世界のベアリングメーカーに先駆けて環境マネジメントシステムの国際規格である「ISO14001」の認証を取得。

| 9

グループ全体が、EPAから「ベスト オブ ザ ベスト オゾン層保護賞」を受賞。

| 10

グループ最大の製造拠点であるタイの全工場が同時に「ISO14001」の認証を取得。

| 12

中国上海2工場が「ISO14001」の認証を取得。

1998 | 1

シンガポールの全工場が「ISO14001」の認証を取得。

| 2

ドイツの製造子会社 Precision-Motors-Deutsche-Minebea-GmbHが「ISO14001」の認証を取得。

| 6

荻野前社長が、上海市の環境保護に貢献した個人として、「上海市環境保護賞」を受賞。

国内の製造子会社エヌ・エム・ビー電子精工株式会社、ミネベア音響株式会社(技術センター)、「ISO14001」の認証を取得。

| 8

電子機械部品のマザー工場である浜松製作所が「ISO14001」の認証を取得。

| 10

藤沢製作所並びに大森製作所が「ISO14001」の認証を取得。

1999 | 1

京都製作所が「ISO14001」の認証を取得。

| 2

英国子会社Rose Bearings Ltd.のスキグネス工場が「ISO14001」の認証を取得。

| 6

米国子会社 New Hampshire Ball Bearings, Inc.のピーターボロー工場が「ISO14001」の認証を取得。

| 11

英国子会社NMB-Minebea UK Ltd.のインチナン工場が「ISO14001」の認証を取得。

2001 | 5

「上海美蓓亞淀山湖環境保護基金」を750万人民币から1,100万人民币に増額。

| 7

米国の製造子会社 Hansen Corporation が「ISO14001」の認証を取得。

| 11

米国子会社 New Hampshire Ball Bearings, Inc.のチャッツワース工場が「ISO14001」の認証を取得。

2002 | 8

米国子会社 New Hampshire Ball Bearings, Inc.のラコーニア工場が「ISO14001」の認証を取得。これにより、国内外すべての製造拠点での認証取得を完了。

社会貢献

高橋財団を設立

1992年に、タイでの事業10周年を祝って、タイのミネベア・グループ各社が当初基金として共同で2,000万パーツを寄贈して、ミネベアの創業者である故高橋高見氏の名称を冠した「高橋財団」を設立しました。その後、タイのミネベア・グループ各社の20周年を祝って基金総額を6,000万パーツに増額しました。

当財団は、科学技術関連の学科を学んでいる経済的に恵まれない学生に対して支援を行っており、1993年以来すでにタイ国内の各教育機関で学ぶ500人以上の学生に対して奨学金を授与してきました。また、貧困家庭の小学生の心身の健康を確保するため、タイの小学校に対する昼食支援プロジェクトも開始しています。

また、タイのミネベア・グループは当財団への基金の寄贈とは別に、地元のロップリ県とアユタヤ県の学生に対する奨学金授与制度を実施しています。



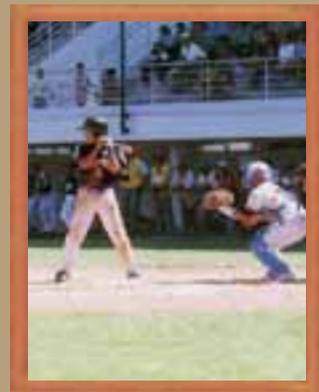
タイ工場の見学会に集った高橋財団奨学生

地域産業助成プログラムに協力

タイ政府による基礎産業の活性化の協力要請により、タイの製造子会社であるMinebea Thai Ltd. は現地の下請け企業から部品を調達する契約を結びました。これはタイ投資委員会が進めている産業連携促進政策(BUILD)に協力したものです。

アマチュア野球連盟を設立

タイのミネベア・グループは、アジア野球連盟及び国際野球連盟の協力を得てタイにおける野球の紹介と普及のため、1992年1月のタイ・アマチュア野球連盟の設立に尽力しました。



バンコク・アジア大会での試合

上海美蓓亚淀山湖環境保護基金

1996年4月に中国子会社上海美蓓亚精密机电有限公司の所在する上海市青浦区にある淀山湖の水質保全とその周辺環境保全を目的とした「上海美蓓亚淀山湖環境保護基金」を設立しました。環境保護を目的とした基金設立は、中国に進出している企業では初めてとなります。

2001年7月に創業50周年を迎えるのを機に、5月に基金額を1,100万人民币に増額しました。この金利を活動資金とし、これまでに工場敷地に面した国道沿いに桜の苗木を寄贈するなど近隣地域の緑化、個人住宅の簡易トイレの設置などを行っています。

また、2001年5月には上海市の苗木センターにて植林を行いました。この苗木は将来、上海市の緑化のために提供されることになっています。



2001年5月に開催された環境保護基金増額セレモニーで挨拶する当社・山本次男社長



上海市の苗木センターへの苗木の寄贈